

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立波多津小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・全体的な評価結果として、全ての項目でAまたはBの評価となり、一定の成果が上げられたと考える。</p> <p>・いじめ問題への対応では、アンケート調査や個人面談などにより早期発見、早期対応に努めることができた。また、職員連絡会で気にしたい子の報告を毎週行うことで、職員全体で共通理解を図って対応することができた。</p> <p>・「すてきポスト」などの取組により、児童同士で互いのよさや頑張りを伝え合うことができた。また、職員も意識して児童のよさや頑張りを伝えたことで、「自分によいところがある」と回答した児童の割合が高くなり、児童の自己肯定感を高めることができたと考えられる。</p> <p>・地域の「人・もの・こと」を生かした学習活動に力を入れた。コミュニティセンターや地域団体との連携を積極的に進め、地域素材の発掘や地域人材の活用が活発にできた。それにより、地域のよさを感じ取っている児童も多い。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	は：励んで光る た：愉しんで光る つ：つながって光る
----------	----------------------------

3 本年度の重点目標	<p>① 思考力、判断力、表現力の育成を目指した授業の創造を図る。</p> <p>② 自他の生命や人権を尊重する心、自己肯定感・自己有用感の育成を図る。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○確かな学力の定着	○既習内容を基に考えた自分の考えを発表し、友達の発言に反応する児童80%以上 ○学校評価アンケートで「学校の勉強はよくわかる」と回答した児童85%以上	・校内研において授業展開の工夫「対話活動の充実」を中心におき、促進を図る。 ・低、中、高学年の3グループに分かれ、各グループで年1回の全体授業研究を行う。 ・スキルタイムでは、プリントやAI型ドリル(eライブラリ)を活用し、基礎基本の定着を図る。	●	●	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートによる友達に思いやりのある態度や言葉遣いで接することができる児童95%以上	・「すてきカード」に全校で取り組むことで、自己肯定感の向上につなげ、友達へのよい目を向ける児童を育てる。 ・集会活動（平和集会、人権集会、特技集会等）や道徳等の授業実践により、自他ともに大切にしようとする心を育む。	●	●	●	●	●	●	・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進担当 ・文化・特活部主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○保護者アンケートの「いじめに対する学校の取組」の評価を85%以上	・このアンケート(1回/月)やO-U(2回/年)を実施するとともに、個別の面談を定期的に行うことで、いじめ等の早期発見、早期対応に努める。 ・職員連絡会で気にしたい子の報告をして共通理解を図って対応する。	●	●	●	●	●	●	・教育相談担当 ・生活部主任
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」という肯定的な回答をした児童80%以上	・職員も児童のよさや頑張りを見つけ、「すてきカード」で全校で紹介する活動を積極的に進める。 ・キャリアパスポートを活用したり、企業などから講師を招聘したりして、将来の夢や目標について考える場を設定する。	●	●	●	●	●	●	・教務主任 ・文化・特活部主任
	●望ましい生活習慣の形成	○平日に朝食を摂取する児童95%以上 ○早寝早起きについて、自分で立てた目標を達成できた児童90%以上	・生活習慣に関する取り組みを委員会で行う。 ・給食試食会や健康教育の授業を行い、保護者も巻き込んだ取り組みを行う。 ・栄養教諭と担任が連携し、食育の授業を行う。 ・早寝早起きの自己目標を立てさせ、定期的に振り返りを行う。また、長期休業後には強化週間を設ける。	●	●	●	●	●	●	・食育推進担当 ・保健部主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(時間外勤務時間45時間未満の職員90%以上)	・健康委員会主催でスポーツレクリエーションの全校で行う。 ・なかよしタイムで一輪車の練習をしたり、体を動かす遊びをしたりして、児童の運動への意欲を高める。 ・一輪車カードを活用して、楽しみながら楽しく遊べるようにする。 ・保健体育管理室のスポーツチャレンジを利用し、業務記録を基に勤務時間の管理を行い、超過勤務時間が多い職員については、個別に指導や支援を行う。 ・定時退勤日の設定・徹底、行事や会議の精選・効率化・時間短縮を進める。 ・ICTを活用し、業務の効率化を図る。	●	●	●	●	●	●	・管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・発達障害児の理解と具体的な実践的な支援について、特別支援教育エリナーを招聘しての夏季研修会を実施する。 ・支援を受ける児童の共通理解を図る。 ・特別支援教育に関する情報を学期に1回以上通信にて職員全体で共有する。	●	●	●	●	●	●	・特別支援教育コーディネーター

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○地域とともにある学校	○地域の「人・もの・こと」を活用した教育活動の推進	○教科と関連付け、各学年2回以上の地域人材活用 ○地域のよさを知り、地域に誇りや愛着があると感じる児童90%以上	・地域の「ひと・もの・こと」を生かしながら、児童が主体的に地域と関わることができる学習課題の設定を行う。 ・コミュニティセンターや地域団体と連携し、地域を素材とした学習にスムーズに取り組むことのできる環境を整える。	●	●	

●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------